

学部、学科等の教育研究上の目的

総合科学部	本学部は、学際性、総合性及び創造性を基本理念とし、高度教養教育をむねとする専門教育を行い、総合的知見と思考力を持つ、自主的・自立的な人材を養成する。
総合科学科	複数の学問分野にまたがる学際的な領域に関する関心を基盤に、3つの教育領域（人間探究領域、自然探究領域、社会探究領域）での学修を通じて、現代社会の諸問題への対応をリードし、深い思考と独創的な想像力を基盤として、新しい学問分野の創造を目指すことができる人材を養成する。また、学際的な学修によって、専門分野にとらわれることなく、常に活発な学問的関心を抱き、総合的な視点から新しい状況や環境に対応し、グローバルな視点から異文化・異領域への共感と理解を深めると同時に、自己の見解を説得的に主張することにより、地域社会や国際社会で活躍できる人材を養成する。
国際共創学科	コミュニケーションのための語学力の育成とリベラルアーツ教育に立脚した専門教育を行うことで、国家や民族、文化や宗教の違いを超えて、地球的な視座から物事を捉え、課題の発見やその背景の解明、課題克服に必要な専門的知識と思考力に立脚し、学際的知識と幅広い洞察力を合わせ持つ、自主的・自立的な人材を養成する。さらに、立場の違う他者と協動的に関わることや問題解決に向けて協働的に関わることを通じて、国際共創を実践できる人材を養成する。
文学部	本学部は、人文科学の分野における幅広い基礎学力と専門知識を有し、鋭い感性と客観的視点に基づいて現代社会を的確に見据え、その発展に貢献できる人間性豊かな個性的人材を養成することを目的とする。
教育学部	本学部は、教育諸問題を理論と実践の統合という視点から学際的、総合的に探究すると共に、「学習者」の視点に立つ新しい教育諸科学の教育・研究を行い、21世紀にふさわしい学校教育や学習社会づくりに貢献できる、幅広い社会的視野と豊かな課題探究力を有する指導的な人材の育成をめざす。
第一類(学校教育系)	小学校教員及び特別支援教育教員に等しく求められる資質や専門的力量を備えた人材を育成し、初等教育及び特別支援教育の充実、進展に貢献することを目的とする。
初等教育学プログラム	小学校教員に等しく求められる資質や専門的力量を備えた人材を育成し、初等教育の充実、進展に貢献することを目的とする。
特別支援教育学プログラム	特別支援教育の基礎として必要な初等教育に関する知識・技能・態度を修得するとともに、障害に関する基礎的な事項、検査法、心理・生理、指導法等に関する幅広い知識を修め、高度な専門性と優れた教育実践力及び特別支援教育の発展に寄与する創造力・研究能力を有する特別支援教育教員を養成することを目的とする。
第二類(科学文化教育系)	豊かな自然環境の創造、環境と人間との共生を主眼として、社会・自然科学の文化創造にかかわる能力形成の過程や論理を総合的に探究し、幅広い社会・自然環境の変化に主体的に対応するとともにグローバルな視野で行動できる資質を有する人材育成に貢献できる豊かな教養と能力を有する教育者を養成する。
理科教育学プログラム	中等理科教育の原理、内容、方法についての専門的な素養と教育実践力を有し、理論と実践を融合した教育研究を行うことができる中学校及び高等学校の理科教員の養成を主目的とし、併せて、教育関係の機関、施設等において中等理科教育に関連する業務に携わる専門的人材を養成する。
数学教育学プログラム	中等数学教育の原理、内容、方法についての専門的な素養と教育実践力を有し、理論と実践を統合した教育研究を行うことができる中学校及び高等学校の数学教員の養成を主目的とし、併せて、教育関係の機関、施設等において中等数学教育に関連する業務に携わる専門的人材を養成する。

技術情報教育学プログラム	情報技術も含めた幅広い生産技術に支えられた「ものづくり」の基盤となる技術・情報教育の目標、内容、方法等に関する教育と研究を通して、IT社会に対応した技術的教養（Technology Literacy）の形成を促すとともに、学校教育を始めとした生涯学習を支援できる中学校及び高等学校の教員や企業における技術者等、技術・情報教育の内容と方法に関わる幅広い分野で指導的な役割を担える人材の養成を行うことを目的とする。
社会認識教育学プログラム	中学校社会科、高等学校地理歴史科・公民科に関する専門的資質を育成し、中等社会系教育に関連する業務に携わる人材を養成する。
第三類(言語文化教育系)	言語構造・言語文化・言語教育・第二言語習得等に関する幅広い研究成果をふまえた、専門性の高い教員養成を行い、豊かな言語的感性と創造性を有する人材を育成する。
国語文化教育学プログラム	中等国語科教育の原理、内容、及び方法についての専門的な素養と教育実践力を有し、理論と実践を融合した教育研究を行うことができる中学校及び高等学校の国語科教員の養成を主目的とし、併せて、教育関係の機関、施設等において国語文化に関連する業務に携わる専門的職員を養成する。
英語文化教育学プログラム	中等英語教育の原理、内容及び方法についての専門的な素養と教育実践力を有し、理論と実践を融合した教育研究を行うことができる中学校及び高等学校の英語科教員の養成を主目的とし、併せて、教育関係の機関、施設等において中等英語教育に関連する業務に携わる専門的人材を養成する。
日本語・日本文化教育学プログラム	質の高い日本語教育者の養成と国際社会で活躍できる人材の育成を目的とする。
多文化・グローバル教育学プログラム	多文化教育、平和教育、国際開発教育を体系的に学び、国内外で平和で持続可能な多文化共生社会の創造に貢献する人材を養成することを目的とする。
第四類(生涯活動教育系)	健康スポーツ、生活、芸術という点から幼児期から高齢期に至る人間の生涯にわたる自己実現に不可欠な身体表現活動の意義や論理等に関する探究を通して、心身の健康の維持や生涯スポーツ活動の普及・充実、生活の質の向上、更には芸術文化の向上を図るための教育・学習方法、カリキュラム等にかかわる専門的教育を行い、生涯学習社会の構築を支援できる人材の育成を行う。
健康スポーツ教育学プログラム	健康やスポーツに関する専門的資質を育成し、学校教員、社会体育指導者及び研究者などの人材養成を通して、生涯学習社会に貢献することを目的とする。
家政教育学プログラム	個人や家族の生活を衣食住環境、生活経営及び発達科学等の多様な視点から考え、研究し、中学校及び高等学校の家庭科教員、公務員及び人間生活・生涯教育関連の企業や団体等において専門業務に従事する、家政教育学の専門家の養成を目的とする。
音楽教育学プログラム	多様化する現代社会に対応して、学校教育はもとより、生涯教育にもわたる広い視野に立って、音楽専門技術、教育方法を習得させながら、音楽教育を研究し、実践する人材を養成することを目的とする。
美術教育学プログラム	生涯教育及び中学校及び高等学校の造形芸術（美術）教育を推進できる指導者や、多様な造形活動による造形芸術文化の向上を通して社会貢献できる人材を養成することを目的とする。
第五類(人間形成基礎系)	学校教育と生涯学習のつながり、更には生涯発達を視野に入れ、教育の意義・価値・目標、システム、学習者の人間形成のメカニズムや心身の発達過程等を解明し、教育学及び心理学にかかわる専門教育を行うことを目的とする。
教育学プログラム	教育諸科学の体系的知識を提供し、教育に関する高い識見と総合的な判断力をもつ専門的人材を養成することを目的とする。
心理学プログラム	心の仕組みや働きについて理解し、現代社会における人間の心に関わる問題を発見し、解決する能力を備えた人材を養成することを目的とする。
法学部	本学部は、健全な社会的関心と一定の法的素養（リーガルマインド）を備えた人材を社会に送り出すために、多様な分野で応用できる基礎力として次の3つの力を養成することを目的とする。 (1) 幅広い視野で社会問題を発見する力 (2) 法制度の体系的理解に基づいて問題を分析する力 (3) 論理的思考の下で具体的解決を提案する力

経済学部	<p>本学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 学問的専門性と豊かな人間性を併せ持つ指導的人材を育成し、社会の要請に応えること。</p> <p>(2) 経済学の理論・応用、歴史、政策及び経営・情報の全般にわたる基礎展開能力、問題解決能力及び課題探索能力を持つ人材を育成し、社会の発展に貢献すること。</p>
理学部	<p>本学部は、自然界に働く普遍的な法則や基本原理の解明を目指した専門的教育研究活動を通じて、自然科学の基礎を十分に修得させ、真理探究への鋭い感性と総合的判断力を培うことによって、社会のさまざまな分野で活躍することのできる、研究者、技術者、教育者等としての素養を備えた人材を養成する。</p>
数学科	<p>現代数学の理論の基礎・応用を学習し、幅広い知識を習得するとともに、高度な論理性と弾力的な数学的思考力を身に付けることによって、研究者、技術者、教育者等として社会の各方面で活躍することのできる人材を養成する。</p>
物理学科	<p>(1) 理学の基盤学問としての物理学の専門知識を主とした高度な教養を身に付け、真理を解き明かし、自然を探究する能力を持つ人材を養成する。</p> <p>(2) 基礎学力と物理分野の高度な専門知識及びそれを使いこなす能力を持ち、研究者、技術者、教育者等として社会で活躍できる人材を養成する。</p>
化学科	<p>化学の基礎知識を体系化して習得し、その確固たる知力に裏打ちされた豊かな創造性及び国際性を併せ持った化学者としての素養を身につけた人材を養成する。さらに、最先端研究に従事することにより、研究者としての心構えや基礎を確立する。</p>
生物科学科	<p>生物科学の幅広い分野の基礎知識及び専門知識並びに実験、調査及び解析の諸技術を習得し、生物学的諸問題に対処できる基礎力を蓄えた人材を育成する。基礎的研究や応用的開発に従事する技術者、産業界における実務や理科教育等関連分野で活躍できる人材を養成する。</p>
地球惑星システム学科	<p>地球惑星科学に関する幅広い基礎知識を習得し、未解決問題の発見とその解決の能力を養い、環境問題、自然災害等に関わる社会的要請にも応え得る人材を養成する。</p>
医学部	<p>本学部は、医学・医療、保健、福祉の実践者にふさわしい豊かな人間性と幅広い教養を身につけ、専門職となるための基礎的知識、技能、態度を習得し、さらには科学的思考力と創造性に富み、地域の医療にも関心が深く、かつ国際性豊かな人材を育成することを目的とする。</p>
医学科	<p>医学科は、医師及び医学研究者を育成し、社会に貢献することを目的とする。</p>
保健学科	<p>保健学科は、看護師・保健師・助産師、理学療法士及び作業療法士領域の優れた人材を育成し、社会に貢献することを目的とする。</p>
歯学部	<p>本学部は、歯科医学・医療、口腔保健学、口腔工学に関わる基盤的・融合的教育を行うとともに、豊かな人間性及び科学的探究心を備え、国内・国際社会に貢献できる歯科医療人を輩出し、歯科医学・医療へ貢献することを目的とする。</p>
歯学科	<p>歯学科は、歯科医師となるための基盤的教育を行うとともに、歯科医学・医療の発展を国内外で主導する人材を育むための専門教育を実施する。これらによって、科学的探求心、国際性、高度な学識と医療技術及び豊かな人間性を備えた歯科医師を輩出し、歯科医学・医療へ貢献することを目的とする。</p>
口腔健康科学科	<p>口腔健康科学科は、口腔健康科学に基づいた基盤的教育を行うとともに、口腔保健の発展を国内外で主導する人材を育むための専門教育を実施する。</p>
口腔保健学専攻	<p>口腔保健学専攻は、歯学、医学、保健学及び福祉に関する知識並びに技術を統合した口腔保健学の確立と体系化、国際的な教育研究拠点の構築、あるいは口腔保健学の高度専門化において活躍できる人材を育成する。また同時に、上記の素養を備えた養護教諭を育成する。これらによって、科学的探求心、国際性、高度な学識と医療技術及び豊かな人間性を備えた口腔保健学の専門家を輩出し、歯科医学・医療、口腔保健及び福祉に貢献することを目的とする。</p>

	口腔工学専攻	口腔工学専攻は、歯学、医学及び工学に関する知識並びに技術を統合した口腔工学の確立と体系化、国際的な教育研究拠点の構築、あるいは口腔工学の高度専門化において活躍できる人材を育成する。これらによって、科学的探求心、国際性、高度な学識と医療技術及び豊かな人間性を備えた口腔工学の専門家を輩出し、歯科医学・医療へ貢献することを目的とする。
薬学部		本学部は、先端的医療薬学研究と先端的創薬科学研究の遂行を通じて薬学の発展を担う人材を育成することによって、人類の健康と社会の持続的発展に貢献し、国立大学薬学部としての使命を果たすため、医療の基盤をなす医薬品等の開発や適正使用に関する基礎体系を修得し、創薬、医療薬学に関わる科学者、技術者、薬剤師の育成を目的とする。
	薬学科	薬学の学修と研究を通じて、生命倫理を基盤に、薬学に関する知識、技能、態度を修得し、先端的医療薬学の実践と研究で活躍しうる資質・能力を有する人材の育成を目的とする。
	薬科学科	薬学の学修と研究を通じて、生命倫理を基盤に、薬科学に関する知識、技能、態度を修得し、独創的な創薬科学分野で活躍しうる資質・能力を有する人材の育成を目的とする。
工学部		工学の目的は”具現化の探求”であり、もって人類の平和、発展、存続に寄与することである。すなわち、自然との調和の中で、社会における要請や課題を解決するための具体的方策を科学的な知識・技術に基づいて検討し、実現することである。本学部は、工学上の学術や技術に関する教育・研究を推進し、工学の目的を達成するための基礎能力・応用能力とともに社会性や自律性を備えた人材を育成して豊かな社会を作ることを目指す。グローバル化が加速する国際情勢、ますます厳しくなる環境問題、新しい価値の創造や急速な技術革新などの社会的課題を自ら敏感に察知し、それを解決できる論理的思考力を持ち、高度情報化等の進歩に的確に対応し、かつ、成果を内外に正しく発信できるコミュニケーション能力を備えた地域、日本、世界に貢献できる人材の育成を目指す。
	第一類（機械・輸送・材料・エネルギー系）	各種機械・機器の機能や構造の設計生産、輸送機械とそれを取り巻くシステムの総合的設計・運営、機械材料・複合材料の開発と加工技術、革新的高効率エネルギー変換技術といった専門分野に立脚しつつも、新しい領域においては高度化・深化する先進要素技術を統合して問題解決を担うことができる人材を育成する。そのために、材料力学、機械力学、熱力学、流体力学（いわゆる四力学）などの基礎的科目を重視し、加えて機械システム、輸送システム、材料加工、エネルギー変換の各分野における専門性の高い科目の教育も行うとともに、英語によるコミュニケーション能力を向上させる。また、卒業研究を始めとした問題発見・設定・解決型の教育（PBL）を通じてコミュニケーション能力とリーダーシップを育成して、世界トップレベルの大学にふさわしい、平和で豊かな社会の持続的発展に寄与できる人材を育成する。
	第二類（電気電子・システム情報系）	電気エネルギーシステム制御や情報処理（電気分野）、半導体素子や集積回路（電子分野）、複合・複雑システムの解析・制御（システム分野）、ソフトウェアや情報処理理論（情報分野）等の専門分野に関する教育・研究を行う。全分野に共通する基礎的な知識・学力を習得させるとともに、いずれかの分野における専門的な知識・技術を、関連分野を含めて統合的に習得させる。これにより、現代社会を支える電子情報処理、通信、電気エネルギー、システム制御等の技術の発展に貢献し、さらには異分野との融合を含む先端技術開発を通じて、地球環境と調和した快適な人間社会の実現に貢献できる人材を育成する。
	第三類（応用化学・生物工学・化学工学系）	応用化学、生物工学、化学工学の3つの専門分野を効果的に統合した教育・研究を行うことにより、高度な機能を持つ物質・材料の開発、発酵工学を基盤とした微生物のバイオテクノロジー、動植物の多様な機能を利用したバイオテクノロジーの開発、化学プロセスの設計・制御をはじめとして、環境の保全・浄化や資源エネルギーの開発等を含む幅広い基礎知識を習得させる。また、工学の諸分野の理解とともに、化学の高度な専門技術をバランス良く身に付けさせることで、地球環境問題を理解し、生活を豊かにする先端技術の創造とそれを基礎にした工業の開発・発展に貢献できる人材を育成する。

第四類（建設・環境系）	<p>自然環境や社会・経済活動に関する総合的な理解を基に、持続可能な社会の実現に不可欠な社会基盤施設や建築物の計画・設計・建設・維持管理，地震・豪雨等に対する防災・減災，水質・大気質・エネルギー等の地域・地球環境の保全等に携わる技術者を養成するための教育・研究を行うことを目的とする。そして，自主的な創造活動等を通じて総合的な判断力・実行力を習得した人材を養成する。</p>
生物生産学部	<p>本学部は，環境と調和した持続可能な食料生産及び生物資源の活用を目指し，生物及び環境に関わる農学領域の知の継承と創造を通して教育研究を行うことにより，この領域の科学的知識と地球規模の広い視野をもって活躍し，社会に貢献し得る人材を養成することを目的とする。</p>
情報科学部	<p>本学部は，データ分析と情報処理のスペシャリストを養成することを目的とする。</p>